

強靱で持続可能な国土の形成<1>

激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

地震・津波の発生に備えた対策の推進

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策等を推進します。

また、重要インフラの緊急点検結果等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」については令和2年度が最終年度となることから、対策が期間内に完了するよう努めるとともに防災・減災、国土強靱化に向けた取り組みを引き続き推進します。



高規格幹線道路の整備



耐震補強



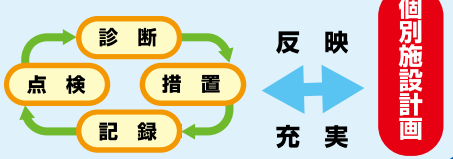
道路斜面の防災対策

道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

●メンテナンスサイクル

橋梁等の道路構造物について、適切に点検・診断、その結果に基づく修繕等を実施するメンテナンスサイクルを構築しています。



●道路構造物の点検結果

平成26年度から30年度までの5年間で、点検の対象となる全ての橋梁等の道路構造物で点検を行い、予防保全及び早期措置の状態の道路構造物について修繕を進めています。



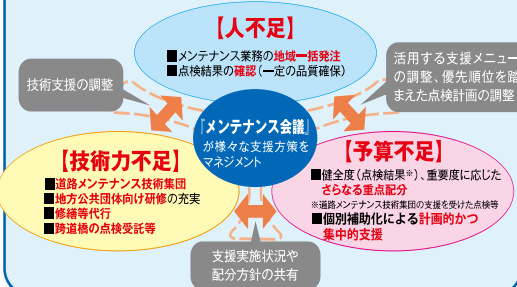
点検状況



点検結果	説明
I：健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II：予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III：早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV：緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

国道の橋梁点検結果（北海道開発局管理）

●地方公共団体に対する支援



●個別施設計画の策定

橋梁等の道路構造物について、国土交通省のインフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、点検・診断等の結果を踏まえた個別施設計画（橋梁長寿命化修繕計画、道路トンネル個別施設計画、大型の構造物個別施設計画）を策定し、計画的な維持管理を図っています。

●老朽化に関する情報発信

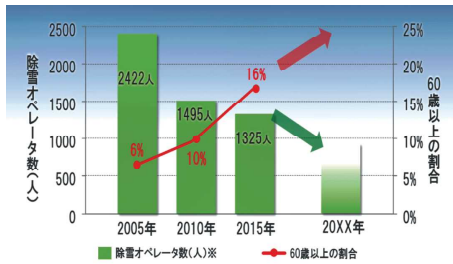
北海道道路メンテナンス会議の取組の一環として、老朽化対策の必要性や橋のメンテナンスに関する理解を深めていただくことを目的に「北海道かけ橋カード」を道の駅や高速道路PA・SA等で配布しています。

除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組

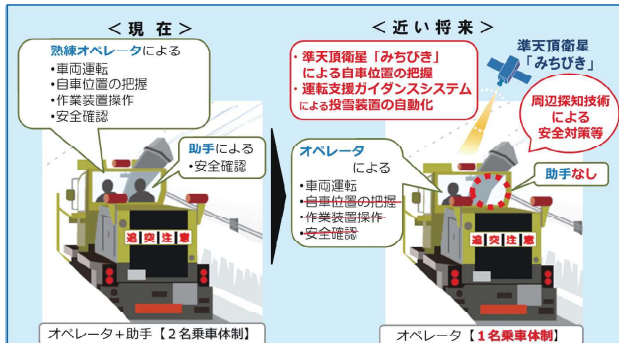
北海道開発局では、除雪機械の熟練オペレーターの減少など、道路除雪を取り巻く課題を踏まえ、除雪現場の省力化による生産性・安全性向上の取組を進めています。

産学官民が連携したプラットフォーム「i-Snow」の取組として、ロータリ除雪車のワンオペ化（2名乗車体制から1名乗車体制へ）を当面の目標として、準天頂衛星「みちびき」と「高精度3Dマップデータ」を活用した運転支援ガイダンスシステムを除雪車に搭載し、投雪作業の自動化や安全対策技術の実証実験を実施しています。

熟練オペレーターの減少及び高齢化



ワンオペ化のイメージ



吹雪時の映像鮮明化



この状況が続くと、熟練した技術と経験を有するオペレーターがいなくなり、近い将来、除雪車による道路除雪が困難になる恐れ